

長岡市・関係団体共同記者発表要旨

日 時：令和2年12月18日（金）午後2時から

会 場：アオーレ長岡東棟4階 大会議室

【発表項目：大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業 共同記者発表】

出席者：長岡市長 磯田 達伸

独立行政法人 都市再生機構

東日本都市再生本部まちづくり支援部長 折田 茂穂

医療法人 メディカルビットバレー 理事長 澁谷 裕之

（市長）

本日は、大手通坂之上町地区第一種市街地再開発事業の進捗状況について発表します。本事業は、独立行政法人都市再生機構が施行者となって進めています。現在、既存建物の除却工事を行っており、進捗状況は、旧長岡商工会議所と旧大和デパートの一部を残すのみとなっており、来年春からいよいよ建設工事に着工する予定となっています。

本日の発表内容は二つあります。一つ目は、工事現場を安全のために囲っている仮囲いのフェンスに、都市再生機構と長岡市が事業PRとにぎわい創出のために協働で行ったラッピングについてです。二つ目は、C街区の工事中に一部土壌から土壌汚染対策法の基準を超える物質が確認されたことなどによる対応について都市再生機構から発表いただきます。

一つ目の工事仮囲いフェンスのラッピングについて説明します。この再開発事業は、場所が米百俵の精神から生まれた国漢学校の跡地であるということ、また、建設する施設に市立図書館の互尊文庫が移転するということから、現代版「国漢学校・互尊文庫」として、新たな人材育成と産業振興の拠点を整備するという趣旨があります。そのため、「場所の記憶・歴史を伝える」をテーマに、このまちの歴史や変遷について、大手通沿いと旧市道401号沿いに設置された工事の仮囲いフェンスを活かしてダイナミックに掲示しました。

大手通沿いは、長岡開府400年の記念冊子「越後長岡ROOTS400」を再編集し、長岡藩の歴史や米百俵の故事、国漢学校、近代産業の中心地だったこの地区の歴史と、関連する先人である河井継之助や小林虎三郎、三島億二郎、野本恭八郎を紹介しています。旧市道401号沿いには、今回新たにデザイン、制作したイラストを交えながら、まちの変遷の歴史を年表形式で紹介しています。サイズは、

大手通り沿いが長さ35メートル×高さ3メートル、旧市道401号沿いが長さ37メートル×高さ3メートルとなっています。ぜひ、ご覧いただきたいと思います。

(司会)

工事仮囲いフェンスのラッピングデザインにつきまして、市と協働で設置しました独立行政法人都市再生機構東日本都市再生本部まちづくり支援部の折田部長からコメントをお願いいたします。

(都市再生機構東日本都市再生本部まちづくり支援部・折田部長)

ぜひこの機会に市民の皆さまから現地に足を運んでいただき、当地にゆかりのある先人や歴史を再発見していただく契機になればと思っています。また、この場所にこれから建設する施設にも期待を膨らませていただければ幸いです。

(司会)

続きまして、二つ目の発表内容であるC街区の進捗状況につきまして、引き続き折田部長から説明をお願いいたします。

(都市再生機構東日本都市再生本部まちづくり支援部・折田部長)

C街区において、たまり水の水質汚染が確認され、その浄化作業を行いました。また、水質汚染が確認された場所の一部の土壌で、土壌汚染対策法の基準を超える鉛およびその他化合物が確認されたことから、同法の手続きに基づき、工事を一時中断し、汚染土壌の除去を行いました。あわせて、現場から当初想定していた以上に地中埋設物が確認されているということもあり、その撤去作業に期間を要することを踏まえて全体の工程を見直しました。

事業スケジュールへの影響を最小限に抑えるため、市や関係者と協議を行い、敷地周辺の土地や道路の使用、工事に支障となる電線の一時的な移設など工期短縮の手立てを尽くし、今後、工程遅延の要因が発生しない条件であれば、当初の想定より約4カ月遅れとなる令和4年7月頃に建物の竣工が見込める旨を市に説明したところです。

(司会)

C街区の進捗状況について、市長からコメントをお願いいたします。

(市長)

C街区の建物の竣工が遅れることは残念ですが、C街区1階にはクリニックが開院する予定ですので、特に衛生面で万全を期すため、土壌汚染への対応を完璧に行っていただいたことは、先行きの安心につながるとしています。令和4年7月頃竣工の見込みですが、一日も早い工事の完成、引き渡しを目指していただきたいと思います。

新型コロナウイルスの感染拡大が続き、大都市から地方分散の動きが進む中で、長岡市はその受け皿になることを目指しています。これには、医療環境を整えることが一番大きな柱と考えており、新しいクリニックの開院には、大きな期待を寄せているところです。長岡市も都市再生機構、メディカルビットバレーと一緒にC街区の早期オープンを目指して頑張っていきたいと思っています。

(司会)

続きまして、C街区に進出するエール長岡クリニックを運営する医療法人メディカルビットバレーの澁谷理事長からコメントをお願いいたします。

(メディカルビットバレー・澁谷理事長)

令和4年4月の引き渡しを経てエール長岡クリニックの開院を予定していましたが、約4カ月遅れるという連絡を受けて、当初は大変残念な気持ちでした。しかし、我々の目指すところは品格の高いクリニックであり、それにふさわしいきれいな土地にさせていただけることを考えれば、約4カ月の遅れは決して大きいものだとは思っていません。全国各地にいる一緒にクリニックを開院する10人の医師たちやスタッフとも、この約4カ月間を団結してみんなで頑張っていこうということになりました。これにより私たちはお互いの絆が深まり、今はむしろプラスになったと考えています。

長岡市、都市再生機構、金融機関等の協力を得ながら、これから私たちが始める新しい形の地域医療が、市民の皆さんにとっても誇りに思っていたらうれしいです。

(記者)

水質調査や土壌調査、除去作業について時系列で教えてください。

(都市再生機構東日本都市再生本部まちづくり支援部・折田部長)

8月に水質分析結果の報告を受けた後、8月26日に工事の一部中止を行い、8月31日に水質分析結果を発表しました。9月10日に土壌汚染対策法第4条3項による調査命令があり、10月5日に土壌汚染報告書を提出しています。10月21日にC街区の一部が形質変更時要届出区域に指定され、11月16日に形質変更届を提出し、汚染土壌区域外搬出届を提出しています。その後、12月1日に土壌汚染排出を開始し、7日に完了しました。

(記者)

水質調査については結果など随時発表していましたが、土壌調査については土壌汚染排出が完了するまで発表しなかった理由を教えてください。

(中心市街地整備室長)

基準値を上回る鉛等が検出された汚染地下水と同様に、土壌からも鉛が検出されており、地下水と土壌に関係性があると考えられましたので、全て完了して工事が進められるというこのタイミングで発表させていただきました。なお、記者発表はしていませんが、土壌調査について都市再生機構から市環境部に届出があった際に、都市再生機構と市で土壌汚染の概要をホームページなどで公表しています。

(記者)

土壌汚染と地中埋設物の関係について教えてください。

(都市再生機構東日本都市再生本部まちづくり支援部・折田部長)

土壌汚染と地中埋設物の関連性について、土壌汚染が一部からしか出てきていないことを考えると、

昔あった建物の影響は少なからずあると思いますが、今のところはっきりとしたことは分かっていません。

(記者)

鉛やその他化合物が確認された土地について、例えば以前に工業系施設があったなど、歴史的に土壌汚染の原因と推察されるようなものはありますか。

(都市再生機構東日本都市再生本部まちづくり支援部・折田部長)

工事前に地歴調査を行っていますが、その際は有害物資の発生と関連するような事実はありませんでした。

(記者)

汚染土壌の撤去量と、撤去のために新たに発生した費用について教えてください。

(都市再生機構東日本都市再生本部まちづくり支援部・折田部長)

土壌汚染対策法に基づき撤去した土壌の処分量は286立方メートルです。

撤去費用は当初の予定より増えており、負担については協議中です。

(記者)

C街区の周辺の土地では、水質や土壌に問題はなかったのでしょうか。

(中心市街地整備室長)

8月31日に水質汚染を発表したのと同時に、市環境部で周辺3カ所の井戸を調査しましたが、有害物質は検出されず安全が確認されています。このため、周辺の土壌についても汚染はないものだと考えています。

(記者)

地中埋設物とは具体的にどのようなものが埋まっているのですか。また、現在の北越銀行駐車場になる前の建物と関係があるのでしょうか。

(都市再生機構東日本都市再生本部まちづくり支援部・折田部長)

地中埋設物について、今確認されているものは、昔あった建物の躯体部分のほか、解体されたがらや、鉄筋、木くずです。躯体部分については詳細が分かっていませんので、これから掘削して撤去していく中で、ボリュームやいつ埋められたものかによって、費用も含めてどうするか協議していかなければならないと認識しています。

(記者)

解体されたがらや、木くずというのは、北越銀行の駐車場になる前の建物のものという認識ですか。

(中心市街地整備室長)

北越銀行の駐車場になる以前は、長岡観光会館という温泉施設やボウリング場、映画館が入るレジャー施設でしたが、それを平成3年頃に解体しており、そのときに発生したものと想定されています。

(記者)

C街区に入るクリニックについて、新型コロナウイルス禍を受けて、対応できるようレイアウトを変えるなどのことは考えていますか。

(メディカルビットバレー・澁谷理事長)

もともと発熱外来を設計に入れていますので、新型コロナウイルスの感染が疑われる方についても対応できると思っています。

(記者)

変更後のクリニックの開業予定日を教えてください。

(メディカルビットバレー・澁谷理事長)

令和4年9月28日の大安を予定しています。院長を務める苅谷先生の誕生日でもあり、この日に決めました。

(記者)

工事が約4カ月遅れることについて、クリニックの開業に向けた看護師や技師などスタッフの募集への影響はあるでしょうか。

(メディカルビットバレー・澁谷理事長)

医師はもともと集まっているので問題ありませんが、看護師などのスタッフの募集には影響があると思いますので、これからしっかりとリクルート活動をやっていく考えです。12月21日にホームページで、エール長岡のリクルートページを公開しますので、ぜひご覧ください。